

沖縄美ら海水族館 教育普及プログラム

オンライン講座のご案内

サービス概要

対 象

無料：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校および市町村教育関係機関

有料：専門学校・大学およびその他の団体

所要時間

1 コマ 60 分（質疑応答を含む）

料 金

1 コマ 10,000 円（税抜）

※実施後に請求書をお送りします。請求書記載の指定口座にてお振込をお願いします。

実施内容

Web 会議システム「Zoom」を利用して講演を行います。

※実施をご希望の場合は Zoom が利用できる環境を整えた上で、配信映像を参加者全員で視聴できるモニターをご用意ください。

※ミーティング設定は依頼施設で行い、当館担当者宛に招待 URL もしくはミーティング ID・パスコードをお送りください。

※講演はパワーポイントを使用して行います。オンライン講座では水槽のライブ配信は行っておりませんので、予めご了承ください。

※講演の録画・録音・撮影（スクリーンショットを含む）等は禁止します。

申込期限

希望日の 1 ヶ月前まで（随時受付）

申込方法

別紙申込書に必要事項をご記入の上、以下宛に FAX をお送りください。

連絡先：沖縄美ら海水族館 魚類課教育普及係

電話：0980-48-2742 FAX：0980-48-4399



講演メニュー

その1 専門家から特定のテーマについて深く学ぶことができます。

① サメ・エイ類について

①-1 水族館のサメ・エイ類

ジンベエザメ・マンタを中心に、サメ・エイ類の基礎知識を解説します。併せて、水族館発の飼育管理技術を用いて明らかになった最新の研究成果や、水族館が取り組むサメ・エイ類の繁殖プロジェクトについて紹介します。

①-2 サメ・エイ類の進化

サメ・エイ類は4億年の進化の歴史を持つと言われています。彼らの進化のプロセスを紹介しながら、魚類全体の進化について概説します。

② 魚類について

②-1 沖縄魚類学概論

「魚ってどんな生き物？」といった基本的な知識から、沖縄の魚類群集の特徴や最新の研究成果などについて解説します。

②-2 水族館で魚を増やす

水族館では様々な魚の繁殖に挑戦しています。繁殖の実例や水族館で魚を増やす意義について解説します。

③ サンゴについて

③-1 「サンゴ」とは？「サンゴ礁」とは？

「サンゴ」という言葉は多くの人が知っていますが、その実態をご存知ですか？詳しく解説します。

③-2 沖縄の海の特徴 ～陸と海のつながりについて～

沖縄の海と本土の海の違い、沖縄の海を保全することは陸とのつながりを知ることから始まります。

③-3 六放サンゴと八放サンゴ

「サンゴ」には様々な種類がありますが、これを系統分類学的に解説します。

③-4 深海にすむ宝石サンゴ

「サンゴ」はどこに住んでいる動物だと思いますか？ 実は世界中の海の様々な水深に生息しています。

④ 水中の無脊椎動物について

④-1 くつつく動物の多様性と海底の生態系

「え？これも動物！？」と思うような、海中のモノに付着する動物について、種や生活史の多様性と、それらがつくる群集の生態的な役割についても紹介します。

④-2 コケムシの生物学

コケでもムシでもないコケムシという知られざる無脊椎動物について、そのユニークな形態や生態を最新の知見を交えて紹介します。

④-3 棘皮動物の骨格と機能形態

ウニやナマコの仲間を中心として、知られざる骨格とその役割について紹介します。

④-4 群体の動物学

クラゲからホヤまで、クローンで大きく成長する群体性の動物について、その多様な形態と生存戦略を紹介します。

④-5 分類学と水族館

じつは新種を見つけることだけが目的ではない、分類学の真の目的と採集から種を記載するまでの方法、さらに標本を残す意義について、水族館や博物館での実例を交えて紹介します。

⑤ ウミガメについて

⑤-1 ウミガメの生態

ウミガメの生活史や食性、種類ごとの特徴を交えながら、ウミガメとはどのような生き物かをわかりやすく解説します。

⑤-2 ウミガメと環境問題

海洋ごみを主とした環境問題が起こすウミガメへの影響について解説します。

⑥ 希少種の調査・保全活動について

⑥-1 絶滅の可能性が極めて高い陸産貝類（カタツムリ類）の保全活動

沖縄本島南部地域と南北大東島にそれぞれ生息する陸産貝類（カタツムリ類）の保全活動について解説します。

⑥-2 琉球列島の生物多様性 「総論」

亜熱帯地域に属する琉球列島の島々には、貴重な生物多様性ホットスポットの一つとして2021年には一部地域が世界自然遺産に登録されました。そんな琉球列島の成り立ちや種分化について解説します。

⑥-3 琉球列島の生物多様性 「トカゲの仲間」

琉球列島で身近なトカゲの仲間について、基本的な生態から外来種問題まで、最新の研究成果も含めて種の多様性に関わることを解説します。

⑥-4 琉球列島の生物多様性 「ウミヘビの仲間」

生活の場に海を選んだコブラ（ウミヘビ）について、生態や形態といった種の多様性に繋がる面白さを解説します。

⑥-5 世界初の繁殖に成功！希少種クロイワトカゲモドキの保全活動

沖縄県固有種のクロイワトカゲモドキは、県の天然記念物に指定されている絶滅危惧種です。飼育下でこそ解明できた研究成果や野外調査等の保全活動について解説します。

⑦ クジラについて

沖縄周辺の鯨類：基礎知識から最新研究まで

沖縄周辺を含む南西諸島海域では、30 種程の鯨類が確認されています。周辺の鯨類相やそれぞれの生態について、最新の研究報告を含め詳しく解説します。

⑧ 水族館における海棲生物の医療について

⑧-1 水族館における獣医師の役割について

国内で 40 名ほどしかいない水族館獣医師が、経験した症例などを動画や写真を用いて紹介します。

⑧-2 水族館の飼育動物の健康管理について

他ではなかなか見ることが出来ない水族館での飼育動物の健康管理について、検査方法や治療について紹介します。

その2 現役飼育員が水族館の概要説明の他、担当する飼育業務や生物の魅力について紹介します。

①魚類課サンゴ礁展示係：浅海性生物飼育担当（サンゴ・クラゲ等無脊椎動物、魚類）

②魚類課黒潮展示係：ジンベエザメ・マンタ等大型魚類飼育担当

③魚類課深海展示係：深海生物飼育担当（深海性エビ・カニ等無脊椎動物、魚類）

④海獣課イルカ係：イルカ飼育担当

⑤海獣課マナティー係：マナティー飼育担当

⑥海獣課保全生物係：両生類・爬虫類（ウミガメ等）飼育担当

⑦健康管理室：海棲生物（イルカ、ジンベエザメ等）健康管理（検査・治療）担当

その3 水族館で働く OB・OG が自らの体験談や各々の業務について紹介します。

出身校一覧（令和 6 年 4 月現在、五十音順）

①魚類飼育員

大阪 ECO 動物海洋専門学校	名古屋 ECO 動物海洋専門学校
大阪動植物海洋専門学校	日本大学
沖縄国際大学	福岡 ECO 動物海洋専門学校
鹿児島大学	福山大学
高知大学	放送大学
仙台 ECO 動物海洋専門学校	北海道大学
帝京科学大学	宮崎大学
東海大学	名桜大学
東京動植物専門学校	琉球大学
徳島文理大学	

②海獣飼育員

麻布大学	東京動物専門学校
大阪 ECO 動物海洋専門学校	名古屋 ECO 動物海洋専門学校
沖縄ペットワールド専門学校	日本大学
近畿大学	日本ペット&アニマル専門学校
信州大学	広島大学
専門学校福岡ビジョナリーアーツ	福岡 ECO 動物海洋専門学校
TCA 東京 ECO 動物海洋専門学校	琉球大学
東京海洋大学	早稲田大学

③動物健康管理室

近畿大学	日本大学
東海大学	酪農学園大学

④動物研究室

麻布大学	宮崎大学
近畿大学	琉球大学
東京海洋大学	福岡 ECO 動物海洋専門学校
東京大学	

⑤水族館解説員

大阪 ECO 動物海洋専門学校	TCA 東京 ECO 動物海洋専門学校
国際ペットワールド専門学校	福岡 ECO 動物海洋専門学校
埼玉動物海洋専門学校	名古屋 ECO 動物海洋専門学校

以上